

# 地域貢献ボランティア活動の単位化(吉備国際大学)について

## 1 ボランティア活動の単位化の目的について

吉備国際大学では、文部科学省の「平成25年度 地(知)の拠点整備事業」の採択を受け、平成26年4月より学生へのキャリア教育の一環として、全学を対象とした学生による地域貢献ボランティア活動を実施しています。具体的には、キャリア開発Ⅱの科目を活用し、ボランティア活動を通して地域社会に貢献しようとする心や姿勢を醸成するとともに、地域社会や身近な生活に起こりうる問題を理解し、解決するために、地域社会に積極的に参加できる人材を養成することを目的としています。

## 2 地域貢献ボランティア活動(キャリア開発Ⅱ)の内容について

キャリア開発Ⅱは2単位の授業で、そのうち実際にボランティア活動をおこなう時間数は、20時間を予定しています。履修については、**年次は2年生から(新入生は履修できません)**、春・秋学期を通じた通年、選択科目となっています。

地域貢献ボランティア活動(キャリア開発Ⅱ)は、新入生の皆さんにとっては来年度からの選択科目になりますが、興味のある人は今からでもボラセンをどんどん活用して、ボランティア活動に慣れ親しんでおくといいでしょう。

## 3 授業評価の方法について

ボランティア活動を単位化することで、活動についても評価をする必要があります。そこで、授業評価の方法は、学科のキャリア開発Ⅱの担当教員により、ボランティア活動参加状況およびボランティア活動発表、活動報告書等により評価をします。参加状況については、受入れ事業者の方に、ボランティアカードに終了を押印していただき、参加状況を把握します。活動状況については、活動発表および活動報告書にて評価します。

## 4 ボランティア保険について

ボランティア活動を単位化することで、授業の1科目となり、ボランティア保険の対象外活動となります。したがって、ボランティア活動する学生は、大学が加盟する任意保険(学生教育研究災害傷害保険「学研災」)に加入した上で、活動に参加します。(活動前に大学で加入確認を行ないます。)

ボランティアセンターでは、地域などから寄せられたボランティアの依頼を学内に広報したり、学生スタッフが独自にボランティアの企画を考え、実践したりしています。

ボランティアに興味がある人、ボランティアをやってみたい人仲間をたくさん作りたい人、自分を変えてみたい人……

どんな人でも大歓迎です! ボラセンに来てみてください!

順正学園ボランティアセンター

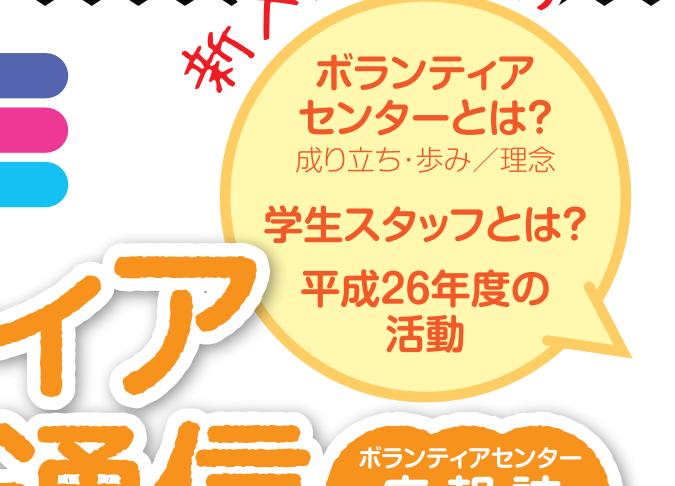
# 学生スタッフ大募集

お問い合わせは…

学校法人 順正学園ボランティアセンター  
吉備国際大学ボランティアセンター  
吉備国際大学短期大学部ボランティアセンター  
順正高等看護福祉専門学校ボランティアセンター  
〒716-8508 岡山県高梁市伊賀町8(旧短大10号館内)  
TEL:0866-22-3548 / FAX:0866-22-3591  
E-mail:volcen@office.jei.ac.jp  
ホームページURL:[http://kiui.jp/pc/campus/volunteer\\_c.html](http://kiui.jp/pc/campus/volunteer_c.html)  
担当者:長瀬(ながる)



See you again!!



ボランティアセンター  
広報誌  
(平成27年4月)

# ボランティアセンター通信

# ボランティア センターとは



## ボラセンって？

ボランティアをやってみたいけれど、どこで探せばいいんだろう？」「ボランティアって、なんだか取つきにくい…」—そんなふうに思っている人！まずは一度、ボランティアセンター（ボラセン）の扉を叩いてみてはいかがでしょう。ボランティア活動に関心のある人、活動に参加したい人々のために、適切なボランティア活動の機会や情報を提供する場所—それがボラセンなのです。

ボラセンには大学を中心とした地域のボランティア情報が日々、集まってきます。福祉、環境、地域活性化、国際協力、災害復興支援など、分野もさまざま。必ず自分にあったボランティアが見つけられるはずです。

分からぬことがあれば、ボランティアのエキスパート「ボランティアコーディネーター」に尋ねるもよし。数々のボランティアを実践し、自ら企画もこなす「学生スタッフ」に聞くもよし。ボランティアを紹介する対象は学生に限らず、一般市民の方々のご相談にも対応します。



## 理念

地域に密着した  
特色ある  
ボランティア活動

- 災害復興支援
  - 災害復興ボランティア
  - 災害に伴う募金活動
- 地域貢献
  - 各種地域行事への参加
  - 企画ボランティアの実施
- 障がい学生支援
  - 授業時の要約筆記
  - ノートテイカー養成講座
  - 要約筆記に関する調査・研究・開発
- 国際貢献
  - 国際協力実習（インド）
  - 国際貢献大学校との連携
- 子ども支援
  - 子どもを抱えた生活困窮家庭への支援活動

## 成り立ち・歩み

- 2001/09 高梁学園（現・順正学園）ボランティアセンター開設
- 2004/05 障がい学生支援（要約筆記）開始
- 2004/09 玉野市・台風16号高潮災害復旧ボランティア実施
- 2006/02 新見市千屋地区・雪かきボランティア実施
- 2006/08 高梁市災害ボランティアセンター研究会発足
- 2007/04 学園あいさつ運動開始
- 2007/11 第19回全国生涯学習フェスティバル「まなびピア岡山2007」参加
- 2008/12 学生×ボランティア向上プロジェクト「サンタ大作戦!!!」開始
- 2011/03 東日本大震災被災に対する募金活動、救援物資の募集・仕分け  
東日本大震災被災者支援プロジェクト実施
- 2011/10 順正学園ボランティアセンター開設10周年記念
- 2012/09 中山間地域支援ボランティア実施
- 2013/11 わっしょい高梁!のびのびサロン開始
- 2014/08 広島県豪雨土砂災害の被災者救援募金活動実施

## ボランティアセンター 学生スタッフとは

ボランティア  
コーディネーター業務を  
学ぶために集まった学生

ボランティアと  
学生をつなぐ

企画をつくる



ボランティアを  
募集・広報する

## 定期活動

- ◆毎週火曜日……センターで会議
- ◆毎月第三土曜日…栄町商店街手作り遊び教室
- ◆毎月第三日曜日…わっしょい高梁!のびのびサロン  
その他にもボランティアを企画・実施しています！

# 平成26年度の活動 2014.04▶▶▶▶09

4月

- ▶ 町家通りの雛まつり
- ▶ 入学式でのパソコン要約筆記
- ▶ 手打ちうどん作り(サロン)



5月

- ▶ 遠隔システムを利用したパソコン要約筆記の開始
- ▶ 栄町商店街手作り遊び教室



6月

- ▶ 高梁自動車学校でのイベント
- ▶ わくわく子供フェスタ21
- ▶ 薬物乱用防止キャンペーン
- ▶ 防災講習会(サロン)



●高梁自動車学校でのイベント、わくわく子供フェスタ21、薬物乱用防止キャンペーンへの参加など、精力的に活動しました。自動車学校でのイベントとわくわく子供フェスタでは、4月の雛まつりと同様、子どもたちを対象に木工やアイロンビーズ作りを行いました。薬物乱用防止キャンペーンでは高梁市内の高校で、啓発活動を行いました。

●防災講習会では、高梁市消防本部から職員の方を講師に迎え、災害時の避難方法や消火器を使った消火訓練、非常食の作り方などを教わりました。

7月

- ▶ ひな人形作り(サロン)



8月

- ▶ 國際協力実習(インド)  
事前研修会
- ▶ 広島県豪雨土砂災害の被災者救援募金活動

●毎年、授業の一環としてインドに赴き、ストリートチルドレンを対象にボランティア活動を行う国際協力実習。その実習に参加する学生らを対象にした事前研修会を、公設国際貢献大学校(新見市)で開き、学生はインドの現状や海外での危機管理について熱心に学びました。

●広島県内で発生した豪雨土砂災害を受け、吉備国際大学と順正高等看護福祉専門学校の学生らが、学内や高梁市内の商業施設で募金を呼びかけました。初回の募金活動には、広島県出身者を中心とした運動部の学生ら約60人が参加してくれました。



9月

- ▶ 知事と一緒に生き生きトーク  
&あいさつ運動
- ▶ 切り絵作り(サロン)

●「犯罪のない安全・安心 岡山県づくりを目指して」をテーマに、大学生防犯ボランティアグループ・ももハト隊所属の学生らが、伊原木隆太岡山県知事と一緒に岡山市内の小学校であいさつ運動を行った後、意見交換会に参加しました。

●サロンでは、地域住民の方と一緒に切り絵を楽しみ、それぞれ素敵な作品を完成させて持ち帰りました。



# 平成26年度の活動 2014.10▶2015.03

## 10月

- ▶ 御前神社秋季大祭
- ▶ 高梁市ふれあい市民運動会
- ▶ 美容マッサージ体験  
&おはぎ作り(サロン)



- 御前(おんざき)神社秋季大祭や高梁市ふれあい市民運動会など、秋の地域行事への参加が目白押し。
- サロンでは、吉備国際大学短期大学部の学生が初参加。地域住民の方とおはぎ作りを楽しんだ後、授業で習得した美容マッサージを参加者全員に施術しました。

## 11月

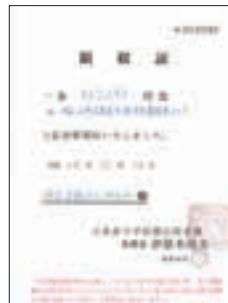
- ▶ 高梁市まちづくり  
ボランティアセンター  
合同清掃活動
- ▶ クリスマスリース作り(サロン)



- 高梁市内のボランティア団体などで結成する高梁市まちづくりボランティアセンターが、備中松山城周辺で清掃活動を実施しました。備北信用金庫や高梁ロータリークラブ、高梁市青年経済協議会のメンバーら約120人が参加。学生スタッフも、早朝から登山道の落ち葉などを拾い集めて、清掃に汗を流しました。
- クリスマスに向けたリース作りは、地域の子どもたちも大勢参加し、オリジナリティあふれる作品を次々に完成させました。

## 12月

- ▶ AIDS感染予防のための  
啓発活動
- ▶ 広島県豪雨土砂災害  
被災者への義援金を委託



- 世界エイズデー(12/1)にあわせて、国際ソロプチミスト高梁の会員と合同で、AIDS感染予防のための街頭啓発活動を行いました。登校中の高校生を中心いて、AIDSの基礎知識を記したちらしなどを配布しました。
- 8月から学内外で行っていた広島県豪雨土砂災害の被災者救援募金を、義援金として日本赤十字社岡山県支部に委託しました。街頭募金に立った学生スタッフから吉備国際大学生3人が岡山市の同支部を訪れ、豊田ひとみ事務局長に義援金337,076円を手渡しました。

## 1月

- ▶ 地域貢献ボランティア  
フォーラム  
(ボランティア実践発表  
シンポジウム第15回記念大会)



- 従来のボランティアシンポジウムを15回目の節目となる今回は、地(知)の拠点整備事業の一環であるボランティアフォーラムとして開催しました。実践発表では、吉備国際大学の科目「キャリア開発II(地域貢献ボランティア)」の発表を兼ねると同時に、地域住民や高校生の方々にも、日頃取り組んでいるボランティア活動の成果を発表していただきました。また、大阪ボランティア協会の水谷綾事務局長による特別講演もあり、約250人の学生や市民の皆さんが熱心に聞き入っていました。

## 2月

- ▶ 岡山県内  
シグマ・ソサエティ交流会  
竹切り&食事会(サロン)



- 国際ソロプチミストの大学内組織シグマ・ソサエティの交流会が、ノートルダム清心女子大学で開かれました。県内5大学にあるシグマ・ソサエティが各自の活動を発表し、交流を深め合いました。

- 「備中たかはし・町家通りの雑まつり」の期間中、地区に飾るための竹の切り出し作業を手伝いました。作業後は、地域の方々と一緒にお弁当をいただきました。

## 3月

- ▶ 卒業式でのパソコン要約筆記  
のびのびサロンカフェ(サロン)

- 入学式と同様に、卒業式でもパソコンを利用して要約筆記を行いました。
- 学生スタッフがバウンドケーキやゼリーを作り、コーヒーや紅茶とともに、地域住民の方々に喫茶として振る舞うサロンカフェを開店しました。

